第2次 小清水町まち・ひと・しごと創生 総合戦略策定 連載Ⅲ

昨年より協議を進めてまいりました、今後５年間のまちづくりの方向性を示す「第２次小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は全ての策定作業を終えました。

第 2 次総合戦略は「新しい人の流れ・定住促進」「結婚・出産・子育て」「雇用の創出」「地域間連携」を理念に掲げ、第１次総合戦略の達成状況を検証すると同時に、必要な施策を追加するなどの見直しを図り、「未来につながるまちづくり」に向けた内容としています。

今月号では３つ目の理念である「雇用の創出」において取り組むべき主な内容と期待される施策効果などについて紹介していきます。

雇用の創出

「農業担い手育成」「高収益作物」「新規事業者推進」「農＋観＋福で紡ぐ“稼ぐ力”向上」による４つのプロジェクトで構成し、11 の施策を展開します。

高収量と高品質を誇る小麦や馬鈴薯、てん菜などの農産物、また優れた生産力を持つ乳牛や黒毛和牛といった畜産品など、小清水町の農畜産業は全道トップレベルであり、町の基幹産業です。農業就業者数の割合も高く、安定した所得が得られる就業と雇用の場を確保する必要性は極めて重要となっています。

「雇用の創出」では農業を軸に、景観・自然資源を活かした観光・食などの産業振興と関連する担い手の育成、域内循環の向上、産業競争の強化をめざす取り組みを通じて、若年層や女性の町外就職の流れをせき止めることで、人口と地域活力の永続的な維持が期待されます。

11の施策

- ▼農業担い手確保・養成事業の充実
- ▼農作業支援組織の設立
- ▼農福連携事業の充実
- ▼集約的野菜団地の形成と高収益作物の生産促進
- ▼起業化創生支援
- ▼企業立地・雇用創設促進
- ▼女性の雇用促進
- ▼通年雇用の場づくり
- ▼障がい者雇用の場づくり
- ▼農業体験ツアーの本格実施
- ▼農業振興拠点施設の整備

農業担い手確保・養成事業の充実

国内外から就農希望者を受け入れ、農業経営スキルやＡＩ（人工知能）による情報分析、ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した効率的な農業技術の向上をめざす農業担い手養成講座を開設。

産学官連携による専門的な講座とし、地域農業の即戦力となる人材を育て、持続可能な生産体制を確立させます。また、農地あっせんによる新規就農者支援や多様な就農体制の整備、農繁期の短時間農作業を求める就農者と短時間農作業の働き手を求める双方を仲介するなどして就労機会を創出します。

農福連携事業の充実

農作業を通じた障がい者の自立支援として、グループホームの設置などにより生活基盤を確立し、就労支援事業所と連携を図りながら新たな雇用の場と労働力を確保します。

集約的野菜団地の形成と高収益作物の生産促進

アスパラやニンジンなど収益性の高い青果物の圃場に ICT（情報通信技術）を導入。省力化を進めながら農作業を支援し、規模面積を拡大すると同時に、選果施設などの関連施設の整備・維持を進め、女性の雇用につなげます。

起業化創生支援

空き店舗などを活用した地域産品の開発や販売など、起業者の取り組みを支援します。

女性の雇用促進

新規採用従業員などの雇用で女性比率を高める事業所を支援するほか、町役場の率先的取り組みとして、職員採用の女性比率を高めます。

通年雇用の場づくり

温泉熱を活かしたハウス園芸実現のため、官民連携の組織設立をめざします。1 年を通して切れ目のない雇用の場の提供が期待されます。

農業体験ツアーの実施

観光と農業を連動させた体験ツアーを企画・実施。就農希望者だけでなく農業に関心のある観光客をターゲットにした農業体験ツアーのプログラム開発などをめざします。